

岩手県企業短期経済観測調査結果（2015年12月）

- 調査対象企業は、岩手県内に本社を置く資本金2千万円以上の67社 ※
- 回答率100%（回答数67社、うち製造業27社、非製造業40社）
- 回答期間 11月11日～12月11日

※ 調査対象企業の定例見直しに伴い、15年3月調査より対象企業が追加されている。このため、計表に記載している14年12月調査結果は、新ベースの集計結果を掲載している。ただし、DIにかかる長期時系列グラフ（4ページ参考2の各グラフ）は旧ベースの集計結果を掲載している。

1. 業況判断指数 (DI)

業況判断指数（全産業）の「良い」超幅は、前回調査（9月）対比で僅かな悪化を示したが、「良い」超幅自体は引き続き高水準を維持している（前回14→今回12；2011年12月調査以来17期連続での「良い」超）。

業種別にみると、製造業では、加工業種で業況感が持ち直したものの、素材業種で製商品需要の減退などを背景に、全体では前回並みの「悪い」超幅となった（前回▲3→今回▲4）。

非製造業では、情報通信、宿泊・飲食サービスで業況感が好転した一方、建設業で業況感が悪化したことから、「良い」超幅が低下した（前回25→今回22）。

先行きは、製造業では、素材業種で需要増加や販売価格の改善を見込む先が増加していることから、「良い」と「悪い」が拮抗（今回▲4→先行き予測0）。

非製造業では、災害復旧復興需要の減少などを懸念する先がみられることから、「良い」超幅が縮小（今回22→先行き予測13）。

この結果、全産業ベースの先行きDIは、「良い」超幅が縮小。

この間、各種判断DI（参考1）をみると、「雇用人員判断DI」では「不足」超が続いている。

（「良い」－「悪い」）回答社数構成比、%ポイント、（ ）内は前回予測

	14/9月	12月	15/3月	6月	9月	12月	16/3月 (予測)
製造業	16	22	15	0	▲3	▲4(▲11)	0
素材業種	29	0	▲11	0	0	▲11(▲33)	0
加工業種	11	33	27	0	▲5	0(0)	0
非製造業	20	28	15	25	25	22(15)	13
建設	50	50	43	36	43	14(29)	0
全産業	18	26	15	15	14	12(5)	8

2. 売上高・経常利益（2015年度見通し）

2015年度売上高は、製造業・非製造業とも上期が上方修正された一方、下期が若干下方修正されたことから、全産業ではほぼ前年並みとなった。

—— 下期の売上高見通しは、先行きの受注減少から製造業では電気機械で、非製造業では建設業で、それぞれ前回調査対比で下方修正となった。

2015年度経常利益は、上期は製造業が上方修正されたものの、下期は製造業、非製造業とも下方修正されたことから、全産業では2割強の前年割れとなった。

—— 下期の経常利益見通しは、先行きの受注環境に対する慎重な見方などから、製造業、非製造業とも前回調査対比で大幅な下方修正となった。

—— 前年同期比・%、()内は前回調査比修正率・%

	2014年度(実績)		2015年度(見通し)					
	売上高	経常利益	売上高			経常利益		
			年度	上期	下期	年度	上期	下期
製造業	▲ 1.4	▲18.7	2.4 (0.4)	2.9 (1.3)	2.0 (▲ 0.6)	▲51.0 (0.8)	▲39.9 (25.6)	▲70.3 (▲40.4)
非製造業	1.2	▲11.4	3.3 (1.2)	4.0 (2.9)	2.5 (▲ 0.5)	▲ 6.8 (▲13.7)	▲34.4 (▲ 2.2)	23.9 (▲19.2)
全産業	0.3	▲14.6	3.0 (0.9)	3.6 (2.4)	2.4 (▲ 0.5)	▲24.4 (▲10.3)	▲36.8 (7.9)	▲ 8.1 (▲22.2)

3. 設備投資額（2015年度計画）

2015年度設備投資は、多くの業種で積極的な投資姿勢を示す向きがみられることから、全産業ベースで前年を上回る計画となった。

—— 下期の設備投資額見通しは、製造業が電気機械で、非製造業が建設業、上期への前倒しがみられた卸売で、それぞれ前回調査対比で下方修正となった。

(ソフトウェア投資を除くベース)

—— 同上

	2013年度(実績)	2014年度(実績)	2015年度(計画)		
			年度	上期	下期
製造業	▲31.5	▲ 1.0	31.2 (▲ 5.6)	15.8 (▲ 5.0)	48.5 (▲ 6.1)
非製造業	▲ 6.9	4.7	1.2 (▲ 1.6)	22.6 (11.6)	▲13.3 (▲11.7)
全産業	▲23.3	1.5	17.4 (▲ 4.0)	18.5 (1.2)	16.4 (▲ 8.3)

(参考1) 各種判断 DI の推移

—— 回答社数の構成比・%ポイント、() 内は前回予測

(1) 需給・在庫・価格判断 DI (全産業ベース)

		14/9月	12月	15/3月	6月	9月	12月	16/3月 (予測)
製商品・ サービス需給	「需要超過」—「供給超過」	▲ 3	▲ 3	▲10	▲17	▲13	▲18(▲12)	▲21
製商品在庫	「過大」—「不足」	▲ 2	▲ 2	8	8	6	2(—)	—
仕入価格	「上昇」—「下落」	27	31	35	25	15	19(18)	20
販売価格		▲ 6	▲ 6	▲ 1	▲ 3	▲ 6	▲11(▲ 6)	2

(2) 生産・営業用設備判断 DI(「過剰」—「不足」)

	14/9月	12月	15/3月	6月	9月	12月	16/3月 (予測)
製 造 業	▲ 4	▲18	▲ 7	▲ 8	0	▲11(4)	▲ 4
非 製 造 業	5	▲ 5	▲ 3	▲ 2	▲ 3	▲ 5(▲ 3)	0
全 産 業	1	▲11	▲ 4	▲ 5	▲ 2	▲ 8(0)	▲ 2

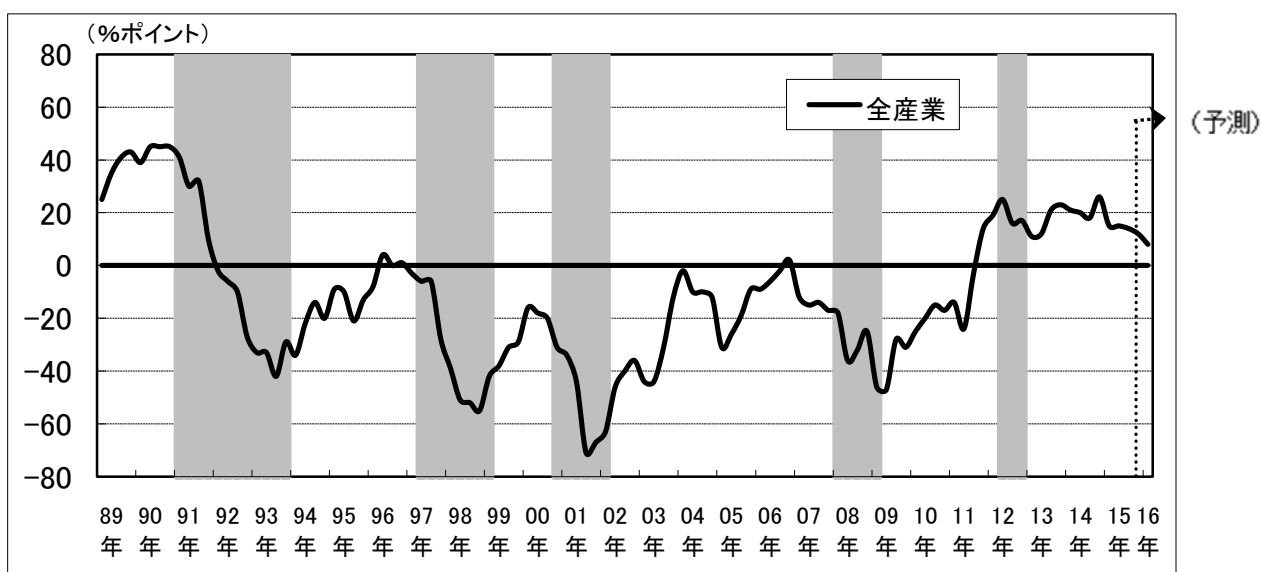
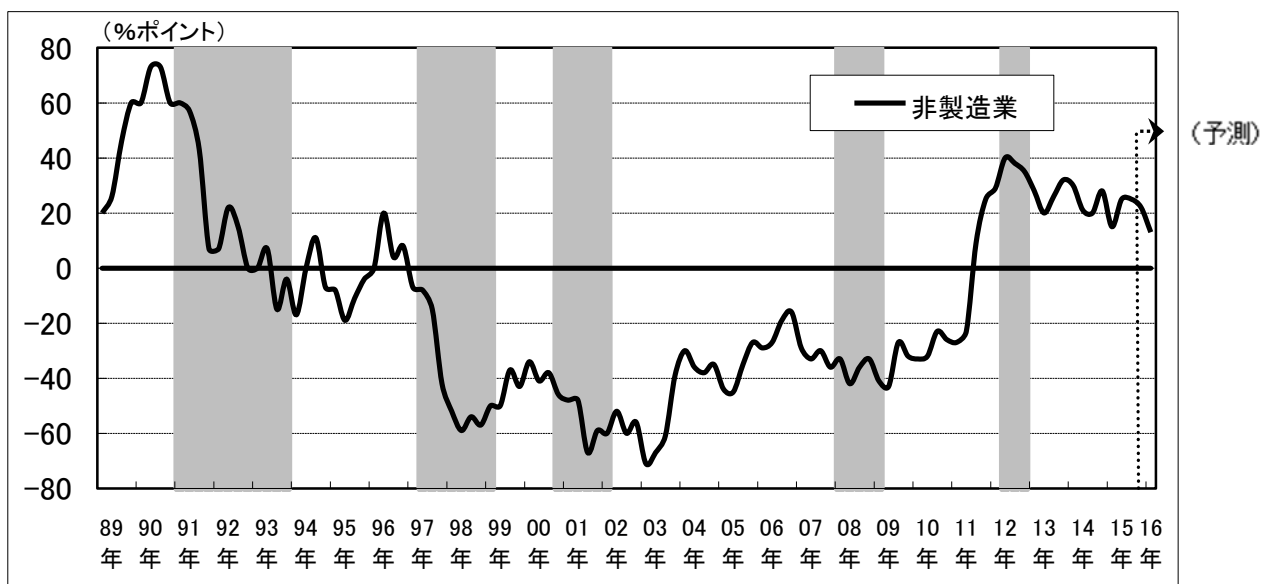
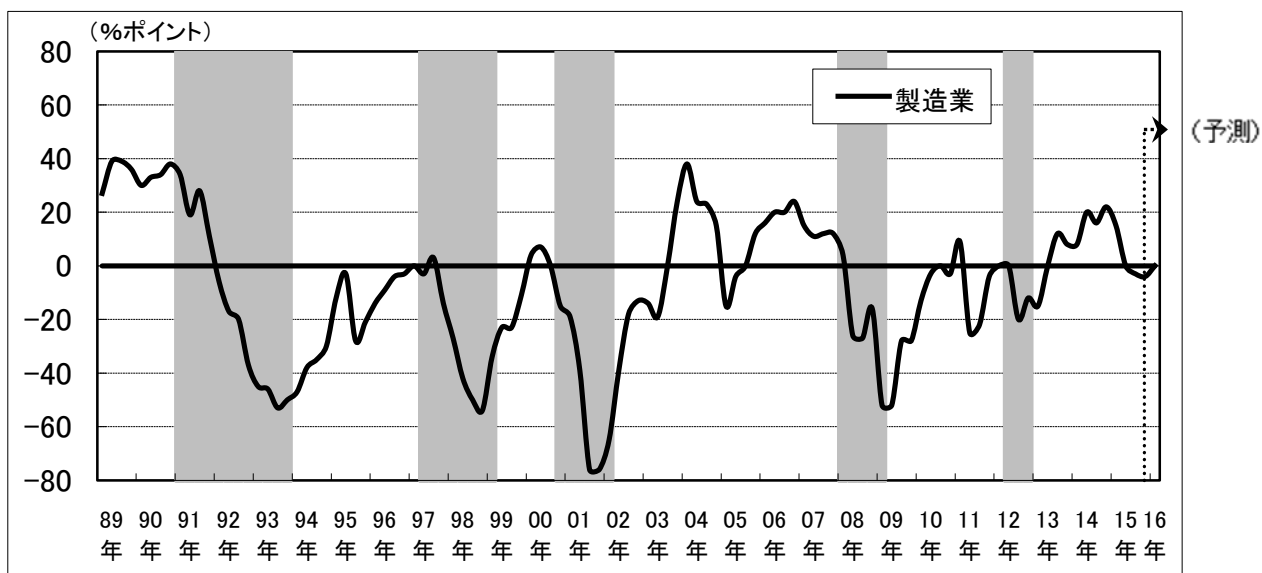
(3) 雇用人員判断 DI (「過剰」—「不足」)

	14/9月	12月	15/3月	6月	9月	12月	16/3月 (予測)
製 造 業	▲24	▲37	▲19	▲19	▲12	▲19(▲11)	▲22
非 製 造 業	▲15	▲30	▲32	▲27	▲32	▲27(▲30)	▲23
全 産 業	▲18	▲33	▲27	▲24	▲24	▲24(▲22)	▲23

(4) 企業金融関連判断 DI (全産業ベース)

		14/9月	12月	15/3月	6月	9月	12月	16/3月 (予測)
資金繰り	「楽である」—「苦しい」	3	6	10	12	15	10(—)	—
金融機関 貸出態度	「緩い」—「厳しい」	10	18	21	18	20	18(—)	—
借入金利 水準	「上昇」—「低下」	▲13	▲14	▲12	▲ 6	▲ 6	▲ 5(2)	3

(参考2) 岩手県の業況判断DIの推移



(参考3) 東北地区(6県)及び全国の業況判断DIの推移

()内は前回予測

		14/9月	12月	15/3月	6月	9月	12月	16/3月 (予測)
製造業	全国	4	7	5	4	5	4 (2)	1
	東北	6	7	1	▲ 2	▲ 1	1 (0)	0
	岩手	16	22	15	0	▲ 3	▲ 4 (▲11)	0
非製造業	全国	5	6	9	10	10	13 (7)	7
	東北	10	10	11	14	15	18 (8)	7
	岩手	20	28	15	25	25	22 (15)	13
全産業	全国	4	6	7	7	8	9 (5)	3
	東北	8	8	7	8	9	11 (5)	4
	岩手	18	26	15	15	14	12 (5)	8

(参考4) 東北各県の業況判断DIの推移

()内は前回予測

		14/9月	12月	15/3月	6月	9月	12月	16/3月 (予測)
全産業	岩手	18	26	15	15	14	12 (5)	8
	青森	5	1	0	1	8	7 (4)	1
	宮城	3	11	5	▲ 1	8	6 (2)	▲ 2
	秋田	▲ 4	▲ 6	▲ 7	0	0	0 (1)	▲ 4
	山形	7	5	5	7	0	13 (0)	0
	福島	12	14	16	16	15	18 (8)	16

以上

本件に関する問い合わせ先

日本銀行盛岡事務所

TEL : 019-624-3622 (代)

<http://www3.boj.or.jp/morioka/>